

■観点別評価規準例

●Part 2 Lesson 1: Thinking about My Future

観点		評価規準
コミュニケーションへの関心・意欲・態度		<p>[R]・将来のことについて考える [モデル文] を読み、内容を理解する。</p> <p>[L] [S]・将来のことについて考えることに興味を持ち、教師の問いに対して、積極的に自らの考えを述べようとする。また、ペアワークやグループワークで、この話題について各自の考えを述べようとする。</p> <p>[S]・将来のことについて、自分の考えを表現しようとする。</p> <p>[W]・将来のことについて考えるために、具体的な進路希望をもとに、資料などを用いて自分の考えを書く。</p>
表現の能力	話すこと	<ul style="list-style-type: none"> ・将来のことについてペアやグループで話しあい、自分の考えが表現できる。相手の発言が分からないときには聞き返しをすることができる。 ・語の強勢、リズム、イントネーションに気を配りながら話すことができる。 ・[モデル文] に対する質問に口頭で答えることができる。 ・[In Function] の「計画を述べる」表現を使って、ペアで対話練習をすることができる。
	書くこと	<ul style="list-style-type: none"> ・[モデル文] を聞いて、ディクテーションができる。その際、punctuation の使い方が正しくできる。 ・[モデル文] の日本語訳を見て、対応する英語の文を書くことができる。 ・[モデル文] に対する質問に筆記で答えることができる。 ・[Study Points] の「数えられる名詞」と「数えられない名詞」を区別して書くことができる。 ・[Let's Check!] と[Exercises A B] の問題を解くことができる。 ・[Exercise C] の質問に答えながら、My Future Plan という題で英文を書くことができる。 ・[モデル文] を参考にして、将来のことについて自分の考えを、「パラグラフとは」(p. 65) にしたがって書くことができる。 ・[Study Points] で扱われている「数えられる名詞」と「数えられない名詞」を用いた英文を2文ずつ書くことができる。 ・[For Your Use] の表現を用いて、簡単な英文を書くことができる。 ・[In Function] の「計画を述べる」表現を使って、英文を書くことができる。
	読むこと	<ul style="list-style-type: none"> ・[モデル文] や [Study Points] を正しい強勢、リズム、イントネーション、区切りなどを用いて音読できる。 ・[Study Points] の英文を暗唱できる。 ・[Exercises A B] について、完成した英文を音読できる。 ・[Exercise C] で書いた英文を音読できる。 ・[モデル文] を参考にして書いた、将来のことについての英文を音読できる。 ・[In Function] の「計画を述べる」表現を使って書いた英文を音読することができる。
理解の能力	聞くこと	<ul style="list-style-type: none"> ・[モデル文] を聞いて、将来のことについての内容が理解できる。 ・[Study Points] の英文を聞いて、「数えられる名詞」と「数えられない名詞」を区別して理解できる。 ・語の強勢、リズム、イントネーションを正しく聞き取ることができる。 ・将来のことについて考えていることをペアやグループで話しあい、相手の言っていることが理解できる。相手の発言が分からないときには聞き返しをするなど、相手が言いたいことを完全に理解するように努めることができる。
	読むこと	<ul style="list-style-type: none"> ・[モデル文] を読み、将来のことについての内容が理解できる。 ・[Study Points] の英文を読んで、「数えられる名詞」と「数えられない名詞」を区別して理解できる。
言語や文化についての知識・理解		<p>[R]・将来のことについて考えることに興味を持ち、大学等の学部・学科・専攻等や職業について調べたり、進路設計上の課題について理解を深める。</p> <p>[R] [W]・「数えられる名詞」と「数えられない名詞」を区別して理解し、的確に使って書くことができる。</p> <p>[R] [W]・「パラグラフとは」(p. 65) にある、パラグラフについて理解できる。</p> <p>[R] [W] [S]・[For Your Use] の表現を理解し、正しく用いることができる。</p> <p>[R] [W] [S]・[In Function] の「計画を述べる」表現を理解し、正しく用いることができる。</p>

●Part 2 Lesson 2: Are You in Good Shape?

観 点		評 価 規 準
コミュニケーションへの関心・意欲・態度		<p>[R]・健康のために何をすべきかに関する [モデル文] を読み、内容を理解する。</p> <p>[L] [S]・健康のために何をすべきかについて関心を持ち、教師の問いに対して、積極的に自らの考えを述べようとする。また、ペアワークやグループワークで、この話題について各自の考えを述べようとする。</p> <p>[S]・健康のために何をすべきかについて、自分の考えを表現しようとする。</p> <p>[W]・健康のために何をすべきかについて、具体的な取り組みとともに、客観的なデータなどを用いて自分の考えを書く。</p>
表現の能力	話すこと	<ul style="list-style-type: none"> 健康のために何をすべきかについてペアやグループで話しあい、自分の考えが表現できる。相手の発言が分からないときには聞き返しをすることができる。 語の強勢、リズム、イントネーションに気を配りながら話すことができる。 [モデル文] に対する質問に口頭で答えることができる。 [In Function] の「忠告する」表現を使って、ペアで対話練習をすることができる。
	書くこと	<ul style="list-style-type: none"> [モデル文] を聞いて、ディクテーションができる。その際、punctuation の使い方が正しくできる。 [モデル文] の日本語訳を見て、対応する英語の文を書くことができる。 [モデル文] に対する質問に筆記で答えることができる。 [Study Points] の冠詞の使い方に注意して英文を書くことができる。 [Let's Check!] と [Exercises A B] の問題を解くことができる。 [Exercise C] の質問に答えながら、Sports and I という題で英文を書くことができる。 [モデル文] を参考にして、健康のために何をすべきかに関する自分の考えを、「トピック・センテンスとサポーティング・センテンス」(p. 69) にしたがって書くことができる。 [Study Points] で扱われている名詞の中から2つを選び、冠詞の使い方に注意しながら、英文を2文書くことができる。 [For Your Use] の表現を用いて、簡単な英文を書くことができる。 [In Function] の「忠告する」表現を使って、英文を書くことができる。
	読むこと	<ul style="list-style-type: none"> [モデル文] や [Study Points] を正しい強勢、リズム、イントネーション、区切りなどを用いて音読できる。 [Study Points] の英文を暗唱できる。 [Exercises A B] について、完成した英文を音読できる。 [Exercise C] で書いた英文を音読できる。 [モデル文] を参考にして書いた、健康のために何をすべきかに関する英文を音読できる。 [In Function] の「忠告する」表現を使って書いた英文を音読することができる。
理解の能力	聞くこと	<ul style="list-style-type: none"> [モデル文] を聞いて、健康のために何をすべきかについての内容が理解できる。 [Study Points] の英文を聞いて、冠詞の使い方に注意しながら、内容が理解できる。 語の強勢、リズム、イントネーションを正しく聞き取ることができる。 健康のために何をすべきかについて考えていることをペアやグループで話しあい、相手の言っていることが理解できる。相手の発言が分からないときには聞き返しをするなど、相手が言いたいことを完全に理解するように努めることができる。
	読むこと	<ul style="list-style-type: none"> [モデル文] を読み、健康のために何をすべきかについての内容が理解できる。 [Study Points] の英文を読んで、冠詞の使い方に注意しながら、内容が理解できる。
言語や文化についての知識・理解		<p>[R]・健康のために何をすべきかに関心を持ち、健康維持のための運動やダイエットについて、その歴史的・科学的背景について理解を深める。</p> <p>[R] [W]・冠詞の使い方を理解し、的確に使うことができる。</p> <p>[R] [W]・「トピック・センテンスとサポーティング・センテンス」(p. 69) にある、論理構成が理解できる。</p> <p>[R] [W] [S]・[For Your Use] の表現を理解し、正しく用いることができる。</p> <p>[R] [W] [S]・[In Function] の「忠告する」表現を理解し、正しく用いることができる。</p>

●Part 2 Lesson 3: The Twilight Crane

観 点		評 価 規 準
コミュニケーションへの 関心・意欲・ 態度		<p>[R]・物語文である [モデル文] を読み、内容を理解する。</p> <p>[L] [S]・物語文について関心を持ち、物語文についての教師の問いに対して、積極的に自らの考えを述べようとする。また、ペアワークやグループワークで、物語文について各自の考えを述べようとする。</p> <p>[S]・物語文について、自分の考えを表現しようとする。</p> <p>[W]・自由な発想で独創的な物語文を書く。</p>
表 現 の 能 力	話 す こ と	<ul style="list-style-type: none"> ・物語文についてペアやグループで話しあい、自分の考えが表現できる。相手の発言が分からないときには聞き返しをすることができる。 ・語の強勢、リズム、イントネーションに気を配りながら話すことができる。 ・[モデル文] に対する質問に口頭で答えることができる。 ・[In Function] の「許可を求める」表現を使って、ペアで対話練習をすることができる。
	書 く こ と	<ul style="list-style-type: none"> ・[モデル文] を聞いて、ディクテーションができる。その際、punctuation の使い方が正しくできる。 ・[モデル文] の日本語訳を見て、対応する英語の文を書くことができる。 ・[モデル文] に対する質問に筆記で答えることができる。 ・[Study Points] の動詞（自動詞・他動詞）の使い方に注意して英文を書くことができる。 ・[Let's Check!] と [Exercises A B] の問題を解くことができる。 ・[Exercise C] の質問に答えながら、進君と美佐子さんのデートの話を自由に書くことができる。 ・[モデル文] を参考にして、自由な内容の物語文を、「時の流れに沿った記述」(p. 73) にしたがって書くことができる。 ・[Study Points] で扱われている動詞の中から2つを選び、それぞれの使い方に注意しながら、英文を2文書くことができる。 ・[For Your Use] の表現を用いて、簡単な英文を書くことができる。 ・[In Function] の「許可を求める」表現を使って、英文を書くことができる。
	読 む こ と	<ul style="list-style-type: none"> ・[モデル文] や [Study Points] を正しい強勢、リズム、イントネーション、区切りなどを用いて音読できる。 ・[Study Points] の英文を暗唱できる。 ・[Exercises A B] について、完成した英文を音読できる。 ・[Exercise C] で書いたデートの話を音読できる。 ・[モデル文] を参考にして書いた、自由な内容の物語文を音読できる。 ・[In Function] の「許可を求める」表現を使って書いた英文を音読することができる。
理 解 の 能 力	聞 く こ と	<ul style="list-style-type: none"> ・[モデル文] を聞いて、状況設定や出来事の順番を整理しながら、物語の内容が理解できる。 ・[Study Points] の英文を聞いて、動詞（自動詞・他動詞）の使い方に注意しながら、内容が理解できる。 ・語の強勢、リズム、イントネーションを正しく聞き取ることができる。 ・物語文について考えていることをペアやグループで話しあい、相手の言っていることが理解できる。相手の発言が分からないときには聞き返しをするなど、相手が言いたいことを完全に理解するように努めることができる。
	読 む こ と	<ul style="list-style-type: none"> ・[モデル文] を読み、状況設定や出来事の順番を整理しながら、物語の内容が理解できる。 ・[Study Points] の英文を読んで、動詞（自動詞・他動詞）の使い方に注意しながら、内容が理解できる。
言語や文化 についての 知識・理解		<p>[R]・物語文に関心を持ち、日本国内だけでなく海外の物語について理解を深める。</p> <p>[R] [W]・動詞（自動詞・他動詞）の使い方を理解し、的確に使うことができる。</p> <p>[R] [W]・「時の流れに沿った記述」(p. 73) にある、文章構成が理解できる。</p> <p>[R] [W] [S]・[For Your Use] の表現を理解し、正しく用いることができる。</p> <p>[R] [W] [S]・[In Function] の「許可を求める」表現を理解し、正しく用いることができる。</p>

●Part 2 Lesson 4: My Math Teacher

観 点		評 価 規 準
コミュニケーションへの 関心・意欲・ 態度		<p>[R]・私の数学の先生に関する [モデル文] を読み、内容を理解する。</p> <p>[L] [S]・ある人物を紹介することについて関心を持ち、教師の問いに対して、積極的に自らの考えを述べようとする。また、ペアワークやグループワークで、人物紹介をしようとする。</p> <p>[S]・積極的に人物を紹介しようとする。</p> <p>[W]・人物紹介のために必要な情報を集め、読み手の関心を引くように内容・構成を考えて書こうとする。</p>
表 現 の 能 力	話 す こ と	<ul style="list-style-type: none"> 人物紹介についてペアやグループで話しあい、自分の考えが表現できる。相手の発言が分からないときには聞き返しをすることができる。 語の強勢、リズム、イントネーションに気を配りながら話すことができる。 [モデル文] に対する質問に口頭で答えることができる。 [In Function] の「理由を述べる」表現を使って、ペアで対話練習をすることができる。
	書 く こ と	<ul style="list-style-type: none"> [モデル文] を聞いて、ディクテーションができる。その際、punctuation の使い方が正しくできる。 [モデル文] の日本語訳を見て、対応する英語の文を書くことができる。 [モデル文] に対する質問に筆記で答えることができる。 [Study Points] の形容詞（限定用法と叙述用法）、副詞の用法を区別して書くことができる。 [Let's Check!] と [Exercises A B] の問題を解くことができる。 [Exercise C] の質問に答えながら、The Person I Admire という題で英文を書くことができる。 [モデル文] を参考にして、ある人物を紹介する文を、「人物の描写」(p. 81) にしたがって書くことができる。 [Study Points] で扱われている形容詞と副詞の中から1つずつ選び、それぞれ独自の発想で英文を書くことができる。 [For Your Use] の表現を用いて、簡単な英文を書くことができる。 [In Function] の「理由を述べる」表現を使って、英文を書くことができる。
	読 む こ と	<ul style="list-style-type: none"> [モデル文] や [Study Points] を正しい強勢、リズム、イントネーション、区切りなどを用いて音読できる。 [Study Points] の英文を暗唱できる。 [Exercises A B] について、完成した英文を音読できる。 [Exercise C] で書いた英文を音読できる。 [モデル文] を参考にして書いた、ある人物を紹介する文を音読できる。 [In Function] の「理由を述べる」表現を使って書いた英文を音読することができる。
理 解 の 能 力	聞 く こ と	<ul style="list-style-type: none"> [モデル文] を聞いて、数学の先生についての内容が理解できる。 [Study Points] の英文を聞いて、形容詞（限定用法と叙述用法）、副詞の用法を区別して理解できる。 語の強勢、リズム、イントネーションを正しく聞き取ることができる。 ペアやグループである人物を紹介しあい、相手の言っていることが理解できる。相手の発言が分からないときには聞き返しをするなど、相手が言いたいことを完全に理解するように努めることができる。
	読 む こ と	<ul style="list-style-type: none"> [モデル文] を読み、数学の先生についての内容が理解できる。 [Study Points] の英文を読んで、形容詞（限定用法と叙述用法）、副詞の用法を区別して理解できる。
言語や文化 についての 知識・理解		<p>[R]・人物描写について関心を持ち、人物の特徴を表す表現や、生き生きと描写するような内容が理解できる。</p> <p>[R] [W]・形容詞（限定用法と叙述用法）、副詞の用法を区別して理解し、正しく書くことができる。</p> <p>[R] [W]・「人物の描写」(p. 81) にある、留意点が理解できる。</p> <p>[R] [W] [S]・[For Your Use] の表現を理解し、正しく用いることができる。</p> <p>[R] [W] [S]・[In Function] の「理由を述べる」表現を理解し、正しく用いることができる。</p>

●Part 2 Lesson 5: The Grand Canyon

観 点		評 価 規 準
コミュニケーションへの関心・意欲・態度		<p>[R]・グランドキャニオンに関する「モデル文」を読み、内容を理解する。</p> <p>[L] [S]・ある場所を紹介することについて関心を持ち、教師の問いに対して、積極的に自らの考えを述べようとする。また、ペアワークやグループワークで、場所の紹介をしあう。</p> <p>[S]・積極的に場所を紹介しようとする。</p> <p>[W]・日本や海外の観光地・史跡などを紹介するために必要な情報を集め、読み手の関心を引くように内容・構成を考えて書こうとする。</p>
表現の能力	話すこと	<ul style="list-style-type: none"> ・場所の紹介についてペアやグループで話しあい、自分の考えが表現できる。相手の発言が分からないときには聞き返しをすることができる。 ・語の強勢、リズム、イントネーションに気を配りながら話すことができる。 ・「モデル文」に対する質問に口頭で答えることができる。 ・「In Function」の「驚きを表す」表現を使って、ペアで対話練習をすることができる。
	書くこと	<ul style="list-style-type: none"> ・「モデル文」を聞いて、ディクテーションができる。その際、punctuationの使い方が正しくできる。 ・「モデル文」の日本語訳を見て、対応する英語の文を書くことができる。 ・「モデル文」に対する質問に筆記で答えることができる。 ・「Study Points」の前置詞の用法に注意して正しく書くことができる。 ・「Let's Check!」と「Exercises A B」の問題を解くことができる。 ・「Exercise C」の質問にしたがって、屋久島についての英文を書くことができる。 ・「モデル文」を参考にして、ある場所を紹介する文を、「場所の描写」(p. 85)にしたがって書くことができる。 ・「Study Points」で扱われている前置詞を含む慣用句から2つを選び、それぞれ独自の発想で英文を書くことができる。 ・「For Your Use」の表現を用いて、簡単な英文を書くことができる。 ・「In Function」の「驚きを表す」表現を使って、英文を書くことができる。
	読むこと	<ul style="list-style-type: none"> ・「モデル文」や「Study Points」を正しい強勢、リズム、イントネーション、区切りなどを用いて音読できる。 ・「Study Points」の英文を暗唱できる。 ・「Exercises A B」について、完成した英文を音読できる。 ・「Exercise C」で書いた英文を音読できる。 ・「モデル文」を参考にして書いた、ある場所を紹介する文を音読できる。 ・「In Function」の「驚きを表す」表現を使って書いた英文を音読することができる。
理解の能力	聞くこと	<ul style="list-style-type: none"> ・「モデル文」を聞いて、グランドキャニオンについての内容が理解できる。 ・「Study Points」の英文を聞いて、前置詞の用法に注意しながら、内容が理解できる。 ・語の強勢、リズム、イントネーションを正しく聞き取ることができる。 ・ペアやグループである場所を紹介しあい、相手の言っていることが理解できる。相手の発言が分からないときには聞き返しをするなど、相手が言いたいことを完全に理解するように努めることができる。
	読むこと	<ul style="list-style-type: none"> ・「モデル文」を読み、グランドキャニオンについての内容が理解できる。 ・「Study Points」の英文を読んで、前置詞の用法に注意しながら、内容が理解できる。
言語や文化についての知識・理解		<p>[R]・日本や海外の観光地・史跡などを紹介することに関心を持ち、地理的・歴史的背景やその意味が理解できる。</p> <p>[R] [W]・前置詞の用法を理解し、正しく書くことができる。</p> <p>[R] [W]・「場所の描写」(p. 85)にある、留意点が理解できる。</p> <p>[R] [W] [S]・「For Your Use」の表現を理解し、正しく用いることができる。</p> <p>[R] [W] [S]・「In Function」の「驚きを表す」表現を理解し、正しく用いることができる。</p>

●Part 2 Lesson 6: What a Holiday!

観 点		評 価 規 準
コミュニケーションへの 関心・意欲・ 態度		<p>[R]・休暇旅行に関する [モデル文] を読み、内容を理解する。</p> <p>[L] [S]・ある出来事を記述することについて関心を持ち、教師の問いに対して、積極的に自らの考えを述べようとする。また、ペアワークやグループワークで、身の回りに起きた出来事について発表しようとする。</p> <p>[S]・積極的に身の回りに起きた出来事について発表しようとする。</p> <p>[W]・身の回りに起きた出来事について記述するために必要な情報を集め、読み手の関心を引くように内容・構成を考えて書こうとする。</p>
表 現 の 能 力	話 す こ と	<ul style="list-style-type: none"> ・ペアやグループで、身の回りに起きた出来事について発表する際、自分の考えを整理して表現できる。相手の発言が分からないときには聞き返しをすることができる。 ・語の強勢、リズム、イントネーションに気を配りながら話すことができる。 ・[モデル文] に対する質問に口頭で答えることができる。 ・[In Function] の「心残り・不満を述べる」表現を使って、ペアで対話練習をすることができる。
	書 く こ と	<ul style="list-style-type: none"> ・[モデル文] を聞いて、ディクテーションができる。その際、punctuation の使い方が正しくできる。 ・[モデル文] の日本語訳を見て、対応する英語の文を書くことができる。 ・[モデル文] に対する質問に筆記で答えることができる。 ・[Study Points] の分詞構文の用法に注意して、書き換えができる。 ・[Let's Check!] と [Exercises A B] の問題を解くことができる。 ・[Exercise C] の質問に答えながら、My Unforgettable Experience という題で英文を書くことができる。 ・[モデル文] を参考にして、ある出来事を、「出来事の記述」(p. 89) にしたがって記述できる。 ・[Study Points] で扱われている分詞構文の用法にしたがって、独自の発想で英文を2文書くことができる。 ・[For Your Use] の表現を用いて、簡単な英文を書くことができる。 ・[In Function] の「心残り・不満を述べる」表現を使って、英文を書くことができる。
	読 む こ と	<ul style="list-style-type: none"> ・[モデル文] や [Study Points] を正しい強勢、リズム、イントネーション、区切りなどを用いて音読できる。 ・[Study Points] の英文を暗唱できる。 ・[Exercises A B] について、完成した英文を音読できる。 ・[Exercise C] で書いた英文を音読できる。 ・[モデル文] を参考にして書いた、ある出来事を記述する文を音読できる。 ・[In Function] の「心残り・不満を述べる」表現を使って書いた英文を音読することができる。
理 解 の 能 力	聞 く こ と	<ul style="list-style-type: none"> ・[モデル文] を聞いて、休暇旅行についての内容が理解できる。 ・[Study Points] の英文を聞いて、分詞構文の用法に注意しながら、内容が理解できる。 ・語の強勢、リズム、イントネーションを正しく聞き取ることができる。 ・ペアやグループである出来事を紹介しあい、相手の言っていることが理解できる。相手の発言が分からないときには聞き返しをするなど、相手が言いたいことを完全に理解するように努めることができる。
	読 む こ と	<ul style="list-style-type: none"> ・[モデル文] を読み、休暇旅行についての内容が理解できる。 ・[Study Points] の英文を読んで、分詞構文の用法に注意しながら、内容が理解できる。
言語や文化 についての 知識・理解		<p>[R] [W]・身の回りに起きた出来事を記述して報告する際に、5Ws 1H にしたがって情報を整理することができる。</p> <p>[R] [W]・分詞構文の用法を理解し、正しく用いて書くことができる。</p> <p>[R] [W]・「出来事の記述」(p. 89) にある、留意点が理解できる。</p> <p>[R] [W] [S]・[For Your Use] の表現を理解し、正しく用いることができる。</p> <p>[R] [W] [S]・[In Function] の「心残り・不満を述べる」表現を理解し、正しく用いることができる。</p>

●Part 2 Lesson 7: Keeping Warm in a Kotatsu

観 点		評 価 規 準
コミュニケーションへの関心・意欲・態度		<p>[R]・日本のこたつに関する「モデル文」を読み、内容を理解する。</p> <p>[L] [S]・日本独自の品物を説明することに興味を持ち、教師の問いに対して、積極的に自らの考えを述べようとする。また、ペアワークやグループワークで、日本独自の品物について各自の考えを述べようとする。</p> <p>[S]・積極的に日本独自の品物を説明しようとする。</p> <p>[W]・日本独自の物を説明するために必要な情報を集め、読み手の関心を引くように内容・構成を考えて書こうとする。</p>
表現の能力	話すこと	<ul style="list-style-type: none"> ・日本独自の品物についてペアやグループで話しあい、自分の考えが表現できる。相手の発言が分からないときには聞き返しをすることができる。 ・語の強勢、リズム、イントネーションに気を配りながら話すことができる。 ・「モデル文」に対する質問に口頭で答えることができる。 ・[In Function] の「快適さを述べる」表現を使って、ペアで対話練習をすることができる。
	書くこと	<ul style="list-style-type: none"> ・「モデル文」を聞いて、ディクテーションができる。その際、punctuation の使い方が正しくできる。 ・「モデル文」の日本語訳を見て、対応する英語の文を書くことができる。 ・「モデル文」に対する質問に筆記で答えることができる。 ・[Study Points] の不定詞と動名詞の用法を区別して書くことができる。 ・[Let's Check!] と[Exercises A B] の問題を解くことができる。 ・[Exercise C] の質問に答えながら、「ふろしき」について説明する英文を書くことができる。 ・「モデル文」を参考にして、日本独自の品物を説明する文を、「品物の説明」(p. 97) にしたがって書くことができる。 ・[Study Points] で扱われている動詞の中から2つを選び、不定詞か動名詞のいずれかと共に用いて、英文を書くことができる。 ・[For Your Use] の表現を用いて、簡単な英文を書くことができる。 ・[In Function] の「快適さを述べる」表現を使って、英文を書くことができる。
	読むこと	<ul style="list-style-type: none"> ・「モデル文」や [Study Points] を正しい強勢、リズム、イントネーション、区切りなどを用いて音読できる。 ・[Study Points] の英文を暗唱できる。 ・[Exercises A B] について、完成した英文を音読できる。 ・[Exercise C] で書いた英文を音読できる。 ・「モデル文」を参考にして書いた、日本独自の品物を説明する文を音読できる。 ・[In Function] の「快適さを述べる」表現を使って書いた英文を音読することができる。
理解の能力	聞くこと	<ul style="list-style-type: none"> ・「モデル文」を聞いて、日本のこたつに関する内容が理解できる。 ・[Study Points] の英文を聞いて、不定詞と動名詞の用法を区別して理解できる。 ・語の強勢、リズム、イントネーションを正しく聞き取ることができる。 ・ペアやグループで日本独自の品物を説明しあい、相手の言っていることが理解できる。相手の発言が分からないときには聞き返しをするなど、相手が言いたいことを完全に理解するように努めることができる。
	読むこと	<ul style="list-style-type: none"> ・「モデル文」を読み、日本のこたつに関する内容が理解できる。 ・[Study Points] の英文を読んで、不定詞と動名詞の用法を区別して理解できる。
言語や文化についての知識・理解		<p>[R] [W]・日本独自の品物を説明することに関心を持ち、日本文化について理解を深めることができる。説明する際には文化の違いに配慮して、分かりやすく説明することができる。</p> <p>[R] [W]・不定詞と動名詞の用法を区別して理解し、正しく書くことができる。</p> <p>[R] [W]・「品物の説明」(p. 97) にある、留意点が理解できる。</p> <p>[R] [W] [S]・[For Your Use] の表現を理解し、正しく用いることができる。</p> <p>[R] [W] [S]・[In Function] の「快適さを述べる」表現を理解し、正しく用いることができる。</p>

●Part 2 Lesson 8: When *Obon* Comes

観 点		評 価 規 準
コミュニケーションへの関心・意欲・態度		<p>[R]・お盆に関する[モデル文]を読み、内容を理解する。</p> <p>[L] [S]・日本の伝統行事を説明することに関心を持ち、教師の問いに対して、積極的に自らの考えを述べようとする。また、ペアワークやグループワークで、日本の伝統行事について各自の考えを述べようとする。</p> <p>[S]・積極的に日本の伝統行事を説明しようとする。</p> <p>[W]・日本の伝統行事を説明するために必要な情報を集め、読み手の関心を引くように内容・構成を考えて書こうとする。</p>
表現の能力	話すこと	<ul style="list-style-type: none"> 日本の伝統行事についてペアやグループで話しあい、自分の考えが表現できる。相手の発言が分からないときには聞き返しをすることができる。 語の強勢、リズム、イントネーションに気を配りながら話すことができる。 [モデル文]に対する質問に口頭で答えることができる。 [In Function] の「一般に受け入れられていることを述べる」表現を使って、ペアで対話練習をすることができる。
	書くこと	<ul style="list-style-type: none"> [モデル文] を聞いて、ディクテーションができる。その際、punctuation の使い方が正しくできる。 [モデル文] の日本語訳を見て、対応する英語の文を書くことができる。 [モデル文] に対する質問に筆記で答えることができる。 [Study Points] の接続詞やつなぎの副詞に注意しながら英文を書くことができる。 [Let's Check!] と [Exercises A B] の問題を解くことができる。 [Exercise C] の質問と「伝統行事などの説明」(p. 101) を参考にして、日本の伝統行事について説明する英文を書くことができる。 [Study Points] で扱われている接続詞やつなぎの副詞を用いて、英文を2文ずつ書くことができる。 [For Your Use] の表現を用いて、簡単な英文を書くことができる。 [In Function] の「一般に受け入れられていることを述べる」表現を使って、英文を書くことができる。
	読むこと	<ul style="list-style-type: none"> [モデル文] や [Study Points] を正しい強勢、リズム、イントネーション、区切りなどを用いて音読できる。 [Study Points] の英文を暗唱できる。 [Exercises A B] について、完成した英文を音読できる。 [Exercise C] で書いた英文を音読できる。 [モデル文] を参考にして書いた、日本の伝統行事について説明する英文を音読できる。 [In Function] の「一般に受け入れられていることを述べる」表現を使って書いた英文を音読することができる。
理解の能力	聞くこと	<ul style="list-style-type: none"> [モデル文] を聞いて、日本のお盆について理解できる。 [Study Points] の英文を聞いて、接続詞やつなぎの副詞の意味と用法に注意しながら、正確に理解できる。 語の強勢、リズム、イントネーションを正しく聞き取ることができる。 ペアやグループで日本の伝統行事について話しあい、相手の言っていることが理解できる。相手の発言が分からないときには聞き返しをするなど、相手が言いたいことを完全に理解するように努めることができる。
	読むこと	<ul style="list-style-type: none"> [モデル文] を読み、日本のお盆について理解できる。 [Study Points] の英文を読んで、接続詞やつなぎの副詞の意味と用法に注意しながら、正確に理解できる。
言語や文化についての知識・理解		<p>[R]・日本の伝統文化を説明することに関心を持ち、日本文化について理解を深めることができる。説明する際には文化の違いに配慮して、分かりやすく説明することができる。</p> <p>[R] [W]・接続詞やつなぎの副詞の意味と用法を理解し、正しく書くことができる。</p> <p>[R] [W]・「伝統行事などの説明」(p. 101) にある、留意点が理解できる。</p> <p>[R] [W] [S]・[For Your Use] の表現を理解し、正しく用いることができる。</p> <p>[R] [W] [S]・[In Function] の「一般に受け入れられていることを述べる」表現を理解し、正しく用いることができる。</p>

●Part 2 Lesson 9: A Letter to the Editor

観点		評価規準
コミュニケーションへの関心・意欲・態度		<p>[R]・悩み事相談に関する[モデル文]を読み、内容を理解する。</p> <p>[L] [S]・悩み事を聞いてアドバイスしたりすることに関心を持ち、教師の問いに対して、積極的に自らの考えを述べようとする。また、ペアワークやグループワークで、お互いに悩み事を聞いてアドバイスしようとする。</p> <p>[S]・積極的に相談したりアドバイスを求めようとする。できるだけアドバイスしてあげようとする。</p> <p>[W]・悩み事やアドバイスを相手に分かりやすいように、まとまった内容・構成になるように書こうとする。</p>
表現の能力	話すこと	<ul style="list-style-type: none"> ・ペアやグループで悩み事相談をしあい、自分の考えが表現できる。相手の発言が分からないときには聞き返しをすることができる。 ・語の強勢、リズム、イントネーションに気を配りながら話すことができる。 ・[モデル文]に対する質問に口頭で答えることができる。 ・[In Function]の「怒りを示す」表現を使って、ペアで対話練習をすることができる。
	書くこと	<ul style="list-style-type: none"> ・[モデル文]を聞いて、ディクテーションができる。その際、punctuationの使い方が正しくできる。 ・[モデル文]の日本語訳を見て、対応する英語の文を書くことができる。 ・[モデル文]に対する質問に筆記で答えることができる。 ・[Study Points]の慣用的な受け身表現に注意しながら英文を書くことができる。 ・[Let's Check!]と[Exercises A B]の問題を解くことができる。 ・[Exercise C]の質問に答えながら、[モデル文]の悩みにアドバイスする文を書くことができる。 ・[モデル文]を参考にして、「悩みや心情を打ち明ける」(p. 105)にしたがって、自分の悩みを伝える英文を書くことができる。 ・[Study Points]で扱われている慣用的な受け身表現の中から2つを選び、独自の発想で英文を書くことができる。 ・[For Your Use]の表現を用いて、簡単な英文を書くことができる。 ・[In Function]の「怒りを示す」表現を使って、英文を書くことができる。
	読むこと	<ul style="list-style-type: none"> ・[モデル文]や[Study Points]を正しい強勢、リズム、イントネーション、区切りなどを用いて音読できる。 ・[Study Points]の英文を暗唱できる。 ・[Exercises A B]について、完成した英文を音読できる。 ・[Exercise C]で書いた英文を音読できる。 ・[In Function]の「怒りを示す」表現を使って書いた英文を音読することができる。
理解の能力	聞くこと	<ul style="list-style-type: none"> ・[モデル文]を聞いて、ジェニーの悩みを理解できる。 ・[Study Points]の英文を聞いて、慣用的な受け身表現の意味と用法に注意しながら、正確に理解できる。 ・語の強勢、リズム、イントネーションを正しく聞き取ることができる。 ・ペアやグループで悩み事相談をしあい、相手の言っていることが理解できる。相手の発言が分からないときには聞き返しをするなど、相手が言いたいことを完全に理解するように努めることができる。
	読むこと	<ul style="list-style-type: none"> ・[モデル文]を読み、ジェニーの悩みを理解できる。 ・[Study Points]の英文を読んで、慣用的な受け身表現の意味と用法に注意しながら、正確に理解できる。
言語や文化についての知識・理解		<p>[R]・文化的な違いが原因の悩み事について考え、日本と他国の文化の違いについて理解を深めることができる。</p> <p>[R] [W]・慣用的な受け身表現の意味と用法を理解し、正しく書くことができる。</p> <p>[R] [W]・「悩みや心情を打ち明ける」(p. 105)にある、留意点が理解できる。</p> <p>[R] [W] [S]・[For Your Use]の表現を理解し、正しく用いることができる。</p> <p>[R] [W] [S]・[In Function]の「怒りを示す」表現を理解し、正しく用いることができる。</p>

●Part 2 Lesson 10: For or Against?

観 点		評 価 規 準
コミュニケーションへの 関心・意欲・ 態度		<p>[R]・携帯電話の是非に関する [モデル文] を読み、内容を理解する。</p> <p>[L] [S]・ある事柄に対して賛成か反対かを主張することについて関心を持ち、教師の問いに対して、積極的に自らの考えを述べようとする。また、ペアワークやグループワークで、自分の主張の理由や根拠を示し、理論的に各自の考えを述べようとする。</p> <p>[S]・積極的に自分の意見を主張しようとする。</p> <p>[W]・ある事柄に対して賛成か反対かを主張する際に、自分の主張の理由や根拠を示すために必要な情報を集め、内容や構成を工夫し、論理的にまとまりのある文章を書こうとする。</p>
表 現 の 能 力	話 す こ と	<ul style="list-style-type: none"> ある事柄に対して賛成か反対かをペアやグループで話しあい、自分の考えが表現できる。相手の発言が分からないときには聞き返しをすることができる。 語の強勢、リズム、イントネーションに気を配りながら話すことができる。 [モデル文] に対する質問に口頭で答えることができる。 [In Function] の「主張する」表現を使って、ペアで対話練習をすることができる。
	書 く こ と	<ul style="list-style-type: none"> [モデル文] を聞いて、ディクテーションができる。その際、punctuation の使い方が正しくできる。 [モデル文] の日本語訳を見て、対応する英語の文を書くことができる。 [モデル文] に対する質問に筆記で答えることができる。 [Study Points] の不定代名詞の用法に注意しながら英文を書くことができる。 [Let's Check!] と [Exercises A B] の問題を解くことができる。 [Exercise C] の質問に答えながら、修学旅行の是非について英文で論じることができる。 [モデル文] を参考に、携帯電話の是非について、「主張と理由」(p. 113) にしたがって英文で論じることができる。 [Study Points] で扱われている不定代名詞の中から2つを選び、独自の発想で英文を書くことができる。 [For Your Use] の表現を用いて、簡単な英文を書くことができる。 [In Function] の「主張する」表現を使って、英文を書くことができる。
	読 む こ と	<ul style="list-style-type: none"> [モデル文] や [Study Points] を正しい強勢、リズム、イントネーション、区切りなどを用いて音読できる。 [Study Points] の英文を暗唱できる。 [Exercises A B] について、完成した英文を音読できる。 [Exercise C] で書いた英文を音読できる。 [In Function] の「主張する」表現を使って書いた英文を音読することができる。 [モデル文] を参考にして書いた、携帯電話の是非についての英文を音読できる。
理 解 の 能 力	聞 く こ と	<ul style="list-style-type: none"> [モデル文] を聞いて、携帯電話の是非に関する内容が理解できる。 [Study Points] の英文を聞いて、不定代名詞の意味と用法に注意しながら、正確に理解できる。 語の強勢、リズム、イントネーションを正しく聞き取ることができる。 ある事柄に対して賛成か反対かを主張する際に、相手の言っていることが理解できる。相手の発言が分からないときには聞き返しをするなど、相手が言いたいことを完全に理解するように努めることができる。
	読 む こ と	<ul style="list-style-type: none"> [モデル文] を読み、携帯電話の是非に関する内容が理解できる。 [Study Points] の英文を読んで、不定代名詞の意味と用法に注意しながら、正確に理解できる。
言語や文化 についての 知識・理解		<p>[R]・ある事柄に対して賛成か反対かを主張することに関心を持ち、論理的にまとまりのある文章構成について理解を深めることができる。</p> <p>[R] [W]・不定代名詞の意味と用法に注意しながら、正しく書くことができる。</p> <p>[R] [W]・「主張と理由」(p. 113) にある、留意点が理解できる。</p> <p>[R] [W] [S]・[For Your Use] の表現を理解し、正しく用いることができる。</p> <p>[R] [W] [S]・[In Function] の「主張する」表現を理解し、正しく用いることができる。</p>

●Part 2 Lesson 11: Saving the Natural Environment

観 点		評 価 規 準
コミュニケーションへの関心・意欲・態度		<p>[R]・環境破壊に関する [モデル文] を読み、内容を理解する。</p> <p>[L] [S]・社会問題について英語で論じることに関心を持ち、教師の問いに対して、積極的に自らの考えを述べようとする。また、ペアワークやグループワークで、社会問題についてお互いの考えを述べようとする。</p> <p>[S]・積極的に自分の考えを述べようとする。</p> <p>[W]・社会問題について英語で論じる際に、その原因や結果について科学的に分析し、論理的にまとまりのある文章を書こうとする。</p>
表現の能力	話すこと	<ul style="list-style-type: none"> ・社会問題についてペアやグループで話しあい、自分の考えが表現できる。相手の発言が分からないときには聞き返しをすることができる。 ・語の強勢、リズム、イントネーションに気を配りながら話すことができる。 ・[モデル文] に対する質問に口頭で答えることができる。 ・[In Function] の「確信を述べる」表現を使って、ペアで対話練習をすることができる。
	書くこと	<ul style="list-style-type: none"> ・[モデル文] を聞いて、ディクテーションができる。その際、punctuation の使い方が正しくできる。 ・[モデル文] の日本語訳を見て、対応する英語の文を書くことができる。 ・[モデル文] に対する質問に筆記で答えることができる。 ・[Study Points] の無生物主語の構文に注意をしながら英文を書くことができる。 ・[Let's Check!] と [Exercises A B] の問題を解くことができる。 ・[Exercise C] の質問に答えながら、関心のある社会問題について英文で論じることができる。 ・[モデル文] を参考にして、環境問題について、「原因と結果」(p. 117) にしたがって、英文で論じることができる。 ・[Study Points] で扱われている無生物主語構文を用いて、英文を2文ずつ書くことができる。 ・[For Your Use] の表現を用いて、簡単な英文を書くことができる。 ・[In Function] の「確信を述べる」表現を使って、英文を書くことができる。
	読むこと	<ul style="list-style-type: none"> ・[モデル文] や [Study Points] を正しい強勢、リズム、イントネーション、区切りなどを用いて音読できる。 ・[Study Points] の英文を暗唱できる。 ・[Exercises A B] について、完成した英文を音読できる。 ・[Exercise C] で書いた社会問題についての英文を音読できる。 ・[In Function] の「確信を述べる」表現を使って書いた英文を音読することができる。
理解の能力	聞くこと	<ul style="list-style-type: none"> ・[モデル文] を聞いて、環境破壊に関する内容が理解できる。 ・[Study Points] の英文を聞いて、無生物主語構文の意味と用法に注意しながら、正確に理解できる。 ・語の強勢、リズム、イントネーションを正しく聞き取ることができる。 ・社会問題について英語で論じる際に、相手の言っていることが理解できる。相手の発言が分からないときには聞き返しをするなど、相手が言いたいことを完全に理解するように努めることができる。
	読むこと	<ul style="list-style-type: none"> ・[モデル文] を読み、環境破壊に関する内容が理解できる。 ・[Study Points] の英文を読んで、無生物主語構文の意味と用法に注意しながら、正確に理解できる。
言語や文化についての知識・理解		<p>[R]・社会問題について関心を持ち、科学的な分析や論理的にまとまりのある文章構成について理解を深めることができる。</p> <p>[R] [W]・無生物主語構文の意味と用法に注意しながら、正しく書くことができる。</p> <p>[R] [W]・「原因と結果」(p. 117) にある、留意点が理解できる。</p> <p>[R] [W] [S]・[For Your Use] の表現を理解し、正しく用いることができる。</p> <p>[R] [W] [S]・[In Function] の「確信を述べる」表現を理解し、正しく用いることができる。</p>

●Part 2 Lesson 12: Women's Working Conditions

観 点		評 価 規 準
コミュニケーションへの 関心・意欲・ 態度		<p>[R]・日本女性の労働環境に関する「モデル文」を読み、内容を理解する。</p> <p>[L] [S]・日本女性の労働環境について関心を持ち、教師の問いに対して、積極的に自らの考えを述べようとする。また、ペアワークやグループワークで、この話題についてお互いの考えを述べようとする。</p> <p>[S]・女性の労働環境の向上について、自分の考えを表現しようとする。</p> <p>[W]・女性の労働環境を知り、状況を変えるために何が必要か、資料などを用いて自分の考えを書く。</p>
表 現 の 能 力	話 す こ と	<ul style="list-style-type: none"> ・日本女性の労働環境について考えていることをペアやグループで話しあい、自分の考えが表現できる。相手の発言が分からないときには聞き返しをすることができる。 ・語の強勢、リズム、イントネーションに気を配りながら話すことができる。 ・「モデル文」に対する質問に口頭で答えることができる。 ・[In Function] の「勧める」表現を使って、ペアで対話練習をすることができる。
	書 く こ と	<ul style="list-style-type: none"> ・「モデル文」を聞いて、ディクテーションができる。その際、punctuation の使い方が正しくできる。 ・「モデル文」の日本語訳を見て、対応する英語の文を書くことができる。 ・「モデル文」に対する質問に筆記で答えることができる。 ・[Study Points] の強調構文の書き換えができる。 ・[Let's Check!] と[Exercises A B] の問題を解くことができる。 ・[Exercise C] の質問を参考にしながら、男女平等について、英文で論じることができる。 ・「モデル文」を参考に、女性の労働環境に関する自分の考えを、「小論の構成」(p. 121) にしたがって書くことができる。 ・[Study Points] を参考にして、強調構文を用いた英文を2文書くことができる。 ・[For Your Use] の表現を用いて、簡単な英文を書くことができる。 ・[In Function] の「勧める」表現を使って、英文を書くことができる。
	読 む こ と	<ul style="list-style-type: none"> ・「モデル文」や [Study Points] を正しい強勢、リズム、イントネーション、区切りなどを用いて音読できる。 ・[Study Points] の英文を暗唱できる。 ・[Exercises A B] について、完成した英文を音読できる。 ・[Exercise C] で書いた英文を音読できる。 ・「モデル文」を参考にして女性の労働環境に関する自分の考えを書いた英文を音読できる。 ・[In Function] の「勧める」表現を使って書いた英文を音読することができる。
理 解 の 能 力	聞 く こ と	<ul style="list-style-type: none"> ・「モデル文」を聞いて、女性の労働環境についての内容が理解できる。 ・[Study Points] の英文を聞いて、強調構文や強調の仕方が理解できる。 ・語の強勢、リズム、イントネーションを正しく聞き取ることができる。 ・日本女性の労働環境について考えていることをペアやグループで話しあい、相手の言っていることが理解できる。相手の発言が分からないときには聞き返しをするなど、相手が言いたいことを完全に理解するように努めることができる。
	読 む こ と	<ul style="list-style-type: none"> ・「モデル文」を読み、女性の労働環境についての内容が理解できる。 ・[Study Points] の英文を読み、強調構文や強調の仕方が理解できる。どのような場合にどの強調表現がふさわしいか見分けることができる。
言語や文化 についての 知識 ・理解		<p>[R]・日本女性の労働環境について関心を持ち、他国の状況との比較を行い、相違点を理解する。また、男女を問わず、日本の労働者が直面している問題について理解を深める。</p> <p>[R] [W]・強調構文や強調の仕方を理解し、その表現を使って書くことができる。</p> <p>[R] [W] [S]・[For Your Use] の表現を理解し、正しく用いることができる。</p> <p>[R] [W] [S]・[In Function] の「勧める」表現を理解し、正しく用いることができる。</p>